

芝商業高校 令和4年度 年間授業計画

教科：(数学科) 科目：(数学Ⅱ) 単位数： 2単位 対象：(第3学年選択生徒)

使用教科書：新編数学Ⅱ (数研出版)

使用教材：Study-Upノート 数学Ⅱ (数研出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目管理会計の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	○指数関数 ・指数の拡張	指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	5
5月	○指数関数 ・指数関数	指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	4
6月	○対数関数 ・対数とその性質 ・対数関数	対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算ができるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	8
7月	就職対策問題	高校数学の学習に関連のあるものを中心に、社会生活に欠かせない計算の練習を行い、数や計算に関する感覚を養う。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	3
9月	○微分係数と導関数 ・微分係数	平均変化率や極限値の概念を学び、微分係数の意味について理解する。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	6
10月	○微分係数と導関数 ・導関数とその計算	導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	6
11月	○微分係数と導関数 ・接線の方程式	接線の方程式が求められるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	3
	○関数の値の変化 ・関数の増減と増大・極小 ・関数の増減・グラフの応用	導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができるようになる。また、微分の考えを事象の考察に活用することができるようになる。		
12月	○積分法 ・不定積分 ・定積分	不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めることができるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	5
1月	○積分法 ・定積分と図形の面積	定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようになる。	問題演習時の机間巡視 提出物 定期考査	5
2月				
3月				